


共同研究成果報告書

研究テーマ名 (新製品・新技術名)	「長野県産材を活用した教育機関・一般施設向けの 救急搬送用木製バックボードの開発」	
企業名等	日装工作所	
HPアドレス		
製品開発のために企業が利用した センターの業務名(利用年度)	次世代産業創出共同研究(平成26年度)	
【成果等の写真、イメージ図等】		
		
開発した木製バックボード(試作品)		
【成果等(製品、技術等)の概要と特徴】		
長野県産木材を用いた軽量の救急搬送用の「木製バックボード型担架」の開発がほぼできた。 学校など教育施設や一般体育施設等で以下の特徴をもつ。		
<ul style="list-style-type: none">○ 軽量(6kg以下)である。○ 信州産木材を使い、施設に馴染む外観をもつ。○ X線の透過性があり、傷病者を乗せたままのCT撮影が可能である。○ 市販の頭部固定具の装着が可能。		
【研究開発における企業、センターなどの役割】		
日装工作所と工業技術総合センターとは以下の開発分野を担当した。		
<ul style="list-style-type: none">○ バックボードの高強度化(日装工作所・県工技センター)○ バックボードの軽量化(日装工作所・県工技センター)○ バックボードの耐久性(県工技センター)○ バックボードの製造法検討・製品試作(日装工作所)		
【製品や技術等の販売実績、今後の販売見込み】		
<ul style="list-style-type: none">○ 一般向け「木製バックボード型担架」として製品化に向け研究を継続予定。○ 専門分野の展示会(救急資器材展2015)に出展し、最終仕様検討中。		
センターの 担当者	環境・情報技術部門人間生活科学部(部長 宮嶋 隆司 担当 北野 哲彦) TEL: 0263-25-0790(直通) E-mail: kankyojoho@pref.nagano.lg.jp	